

早稲田大学 国語教育研究

第39集

〔特集〕 変わる高校国語

高等学校国語科の改訂はとう受け止められているか……………幸田 国広 (1)
変わる (か) 高校国語……………

―すべての選択科目の「内容」を取り上げる工夫の必要性―……………

野村耕一郎 (13)

「役に立つ」国語は本当に生徒のためになるのか?……………掛井みち恵 (22)

「言語活動」としての「リーディングパフォーマンス」の可能性……………浅田 孝紀 (30)

―朗読・群読の新しい形を開拓する―……………

本橋 幸康 (37)

―大学入学共通テスト試行調査を中心に―……………

〔シンポジウム〕 明治150年 国語の中の漱石……………高山 実佐 (44)

―高等学校国語科授業の可能性―……………豊田 昂希 (48)

―東野圭吾「容疑者Xの献身」との比較から―……………

精読する、土台をつくる……………水鳥 千絵 (56)

―夏目漱石「こころ」を読む―……………古家 敏亮 (67)

〔「こころ」を読む愉しみはあるか〕……………

〔実践報告〕

中等教育において古典教材を学習者自身に考えさせる取り組み……………大塚 誠也 (74)

シミュレーションとアナロジーの演劇活動がもたらす……………

生徒の主体性や協同性への影響について……………中田 精 (横)

―「城崎にて」の授業実践―……………

〔現場から〕……………

教科書脚注から考える……………赤堀 (阿内) 加苗 (85)

現場から……………宮内 駿 (86)

〔実践力〕を重視した高専国語教育……………中田 幸子 (87)

初心忘るべからず……………大池 公紀 (88)

文学の現場と想像力……………西野 厚志 (89)

タイのモヤシと日本のモヤシ……………村松 純光 (90)

〔新刊一覽〕……………

〔新刊紹介〕……………

加藤優・小林俊輝・橋詰絵里加・大胡芽生・加賀美遥・渡部京香……………

飯泉召・山本佳奈・土堂遼平・荻原大地・西尾泰貴・深澤克俊・高橋賢人……………

◎二〇一八年度活動報告……………

2019年3月

早稲田大学国語教育学会

The Japanese Literature and Language Education Society of Waseda University